

JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ (Ver.2.40)

- ・ 本資料は、JAMA/JAPIA統一データシートのバージョンアップ(Ver.2.40)による変更点をまとめたものです。 [16年11月1日リリース予定]
- ・ 最新版のJAMA/JAPIA統一データシートは、16年11月以降、JAPIAホームページ (<http://www.japia.or.jp/>) より入手できます。
- ・ JAMA/JAPIA統一データシートは、今後もバージョンアップされる可能性があります。

2016年11月1日
一般社団法人 日本自動車部品工業会
製品環境部会

<Ver. 2.40による改正内容一覧表>

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
I. 記入帳票	1. 表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョン、日付を更新しました。 ・改正の説明を追記しました。 	4ページ
	2. パスワード	<ul style="list-style-type: none"> ・記入帳票を開く際のパスワードを変更しました。(パスワードは調査依頼元に確認してください。) 	(なし)
	3. 化合物含有率のチェック仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDSの変更に伴い、「化合物含有率」(項目番号: 26,42-44)の入力チェック仕様を変更しました。 	5ページ
	4. 質量偏差のチェック仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDSの変更に伴い、「部品質量」(項目番号:4,10)の入力チェック仕様を変更しました。 	6ページ
	5. 入力項目追加 殺生物目的	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDSの変更に伴い、入力項目を追加しました。 [対象となる入力項目] 殺生物目的(項目番号:35) (注) ・追加項目は、以前は、備考(Module ID IMDS管理)(項目番号:35)*であった列を利用しています。 *2008年11月に無効化 	7ページ

ファイル	改正項目	改正内容	詳細説明
Ⅱ. 外部 リスト	6. 材料リスト MAT	<ul style="list-style-type: none"> ・JISの変更に伴い、整合化しました。 ・「材料リスト補足説明資料」を参照願います。 	(なし)
	7. 化合物リスト IMDS_SUB	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDS BSLの変更内容(追加・修正・削除)を反映しました。 ・これに伴い、化合物名称(日本語)を見直しました。 ・REACHのSVHC(高懸念物質)のフラグを追加しました。(2016年6月20日追加分) 	8ページ
	8. 化合物の GADSL分類 IMDS_CATEGORY	<ul style="list-style-type: none"> ・GADSL改正(2016 Version 2)に合わせ修正しました。 	(なし)
	9. アプリケーション リスト IMDS_APP IMDS_SUB_APP	<ul style="list-style-type: none"> ・IMDSとの整合化のため、鉛のアプリケーションコードを更新しました。 <p><削除>58 (コンプライアントピンコネクターシステム中の鉛を示す旧コード)</p>	9ページ

I. 記入帳票の改正内容

1. 表紙

JAMA/JAPIA統一データシート

Ver.2.40
2016年11月1日

新設項目「殺生物目的」(項目番号:35)の情報を得るためのデータ再提出要求は、自粛いただきますようお願いいたします。
詳細は、「JAMA/JAPIA統一データシートの運用要領」(2016年11月改正版)の5.7項に従ってください。

JAMA/JAPIA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。

<2016年11月1日>

- ・IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.40)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・最新GADSL(2016 GADSL Version 2.0)に整合化し、外部リストを更新しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2016年6月20日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

<2016年6月1日>

- ・IMDSとの整合を図り、小改正版(Ver2.33)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・最新GADSL(2016 GADSL Version 1.1)に整合化し、外部リストを更新しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2015年12月17日に追加されましたので、外部リストを更新しました。

<2015年11月1日>

- ・IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.32)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・最新GADSL(2015 GADSL Version 1.3)に整合化し、外部リストを更新しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2015年6月15日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

<2015年6月1日>

- ・IMDSとの整合を図り、小改正版(Ver2.31)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・最新GADSL(2015 GADSL Version 1.0)に整合化し、外部リストを更新しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2014年12月17日に追加されましたので、外部リストを更新しました。

<2014年10月1日>

- ・IMDSとの整合と、入力者の利便性向上を図り、小改正版(Ver2.30)を発行しました。
改正内容の詳細につきましては、JAPIAホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・最新GADSL(2014 GADSL Version 1.2)に整合化し、外部リストを更新しました。
- ・欧州REACH規則のSVHCが、2014年6月16日に追加されましたので、外部リストを修正しました。

(以下、省略)

<変更点>
バージョン、日付を更新
しました。

<変更点>
改正内容を追記
しました。

3. 化合物含有率のチェック仕様

IMDSの変更内容(2015年11月)

VDA材料分類5.x、6.xの材料について、1物質の含有率が100%の場合警告とする。
 (樹脂・ゴム類の添加物記載漏れを防ぐ目的)
 新規作成時および、既存材料の参照時にチェックが実行される

JAMAシートの変更

IMDSと同じ条件でのエラーチェックを実施する
 ただし、対象は既存材料、新規材料にかかわらず全材料とする

(1) エラーチェック

材料VDA分類が5.xまたは6.xかつ、構成物質が1つのみの場合かつ、その含有率が100%(固定値)、1(残部)の場合、警告を表示(下図)



4. 質量偏差のチェック仕様

IMDSの変更内容(2015年11月)

質量公差 (tolerance) 欄は廃止。質量偏差 (deviation) は、全OEM共通のチェックとなった。
ただし、各構成レベルの部品質量に応じた上限が新たに設定され、超えた場合は警告となる。

JAMAシートの変更内容

IMDSと同じ条件でのエラーチェックを実施する

(1) エラーチェック

- ・チェックボタン押下した時に、IMDSと同じ条件でチェックを実施。上限を超えた場合、警告とする。
- ・従来のチェック(下記)は廃止
 - 下位構成合計と不一致かつ5%未満の差: 警告
 - 下位構成合計と5%以上の差: エラー

IMDSの質量偏差上限値

Weight of component (X)	Max. deviation in %
$X < 1\text{g}$	100
$1\text{g} \leq X < 100\text{g}$	10
$100\text{g} \leq X < 1\text{kg}$	5
$1\text{kg} \leq X < 10\text{kg}$	2
$10\text{kg} \leq X < 100\text{kg}$	1
$X \geq 100\text{kg}$	0.5

5. 入力項目追加(殺生物目的)

IMDSの変更内容(2016年11月)

ユーザはBPR関係の物質(2016 GADSL V2では、グループ26)の場合、殺生物目的かどうかを回答(Yes/No)、さらに「Yes」の場合、プロダクトタイプを回答する

JAMAシートの変更内容

ユーザはGADSLのBPR関係の物質について殺生物目的の場合、「プロダクトタイプ」(用途)を回答し、殺生物目的でない場合は「N」と回答する

(1) 入力支援

②-1 「一括入力」をクリック

②-2 「選択」をクリック

③-1 「OK」または「キャンセル」を選択

③-2 入力値を選択し、OKまたはキャンセルを選択

④-1 「N」(殺生物目的でない)が、対象物質すべてに一括入力される

④-2 選択した値が、選択したセルに入力される

① 入力するいずれかのセルを選択

項目番号	34	35	40
項目名称	シジョン	殺生物目的	数量単位
定義	・IMDSで定められている有害物質を使用している場合の使用目的コード	・欧州殺生物規則における殺生物目的の有無とプロダクトタイプを示すコード	・構成部品の単位
記入者	調査先	調査先	調査先

(2) エラーチェック

BPR関係の物質に「N」、「7」、「8」、「9」のいずれかの値が入力されていないとエラーとする

(注意事項)・XMLファイルへは、入力値が設定されません。IMDSへの報告は、IMDSの入力機能を使って対応します。

Ⅱ. 外部リストの改正内容

7. 化合物リスト

2015年6月の改正以降、BPR*関係の物質については、GADSLに特別な判断の記述がありますので引き続き、注意して対応いただく必要があります。

*: Biocidal Products Regulation 欧州殺生物性製品規則

<内容>

GADSLでの“Biocidal coatings / biocidal additives, selected”の区分のつけ方
使用許可⇒「D」、一つ以上の用途(Product Type)で禁止⇒「D/P」



JAMAシートでは、GADSL区分に従い、単純に“「D」⇒茶、「D/P」⇒紫、「P」⇒赤”としていますが、殺生物目的で使用しない場合など、条件により対象外となります。
⇒他の「D/P」「P」と同じように規制の対象と判断すべきではありません。

2016年11月1日のJAMAシートより、BPRのための入力項目・機能が追加されました。運用については、「JAMA/JAPIA統一データシートの運用要領」(2016年11月改正版)の5.7項に従ってください。

IMDSとの整合のため、鉛および鉛化合物のアプリケーションコードについて、以下の変更を行いました。

＜アプリケーションコードの削除＞ IMDSの2016年6月14日変更内容を反映

ID	アプリケーションコード(英語)	アプリケーションコード(日本語参考訳)
58	8f) - Lead in compliant pin connector systems	8f) - <コンプライアントピン> コンプライアントピン コネクターシステム中の鉛

コード58が削除されますので、今後は細分化されたコード67または68から選択して下さい。

＜細分化されたアプリケーションコード＞ IMDSの2016年6月14日変更内容を反映

ID	アプリケーションコード(英語)	アプリケーションコード(日本語参考訳)
67	8f) (a) - Lead in compliant pin connector systems	8f) (a) - <コンプライアントピン> コンプライアントピン コネクターシステム中の鉛
68	8f) (b) - Lead in compliant pin connector systems other than the mating area of vehicle harness connectors	8f) (b) - <コンプライアントピン> 車両ハーネス・コネクタ の嵌め合い領域以外のコンプライアントピン コネクターシステム中の鉛

(補足説明) 旧バージョンとの互換性について

(1) 外部リスト

互換性なし。

必ずVer.2.40の外部リストを利用して下さい。

旧バージョンの外部リスト(Ver.2.01 ~ Ver.2.33)は、

エラーチェックや選択入力が正しく動作しないため利用することができません。

(2) CSVファイル

互換性あり。

旧バージョン(Ver.2.01 ~ Ver.2.33)にて作成したCSVファイルでも

取り込みできます。

ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しに伴い、

エラーが発生する可能性があります。この場合データの修正が必要となります。